

平成 29 年度アンデス諸国学生短期派遣プログラム 概要と応募条件について(予定)

1. 概要

山形大学は、平成 27 年度に大学教育再生戦略推進費「大学の世界展開力強化事業」
「山形・アンデス諸国」ダブル・トライアングル・プログラムに採択されました。この
プログラムの一貫として、平成 29 年度も南米 3 カ国（ペルー、ボリビア、チリ）におけ
る短期研修を実施します。学生は、これら 3 カ国において現地の学生とともに、天然資
源やエネルギー資源を用いた産業開発、貧困問題などの解決に向けた福祉開発、環境保
全に関する取り組みなどを現地訪問型で学習するとともに、グローバルコミュニケーシ
ョン能力とリーダーシップの育成ならびにバイタリティの向上を目指します。

2. 目的

山形大学、米沢栄養大学、鶴岡高専の学生を南米 3 カ国に派遣し、現地の協定校の学
生とともに研修に参加することで、学生のグローバル能力を向上させ、多文化共生につ
いて理解を深めます。また現地研修を通じて実際の南米諸国の課題を理解し、解決策を
模索するとともに、グループワークなどを通じてコミュニケーション能力、リーダーシ
ップ力、企画力などの能力の向上を図ります。将来的に国際協力の領域やグローバル企
業で働くことができる能力を育成します。

【育成する人材像】

○経済・福祉・自然の再生産に貢献できるバランスの取れた人材で、3 カ国語（日本語・
英語・スペイン語）の運用能力とコミュニケーション力に長けた人材。

○行動力とバイタリティに溢れ、国際協力や国際プロジェクトに積極的に取り組める人
材。

○リーダーシップを発揮して組織をまとめて先導し、日本とアンデス諸国のブリッジに
なりうる人材。

○相手国の多様な文化・価値・技術・社会を理解し、プロジェクトを的確に企画・実施で
きる人材。

3. 日程

※ 現時点での予定であり、今後変更される可能性があります。具体的な日程について
は確定次第、HP 等でご連絡します。派遣中は引率のために 2 名以上の教員が同行し
ます。

事前学習会	出発日	帰国日	事後学習会
H30 年 1 月中旬	H30 年 2 月中旬～ 下旬	H30 年 3 月上旬～ 中旬	H30 年 4 月中旬

4. 募集人数

全体で 12 名程度

5. 費用

今年度に関しては検討中です。参考までに前年度の例を挙げておきます。（今年度の詳細につきましては、後日 HP 等でお知らせします。）

（平成 28 年度の例）

（1）渡航費用、現地旅費、宿泊費についてはプログラムより支給。

（2）プログラムに係る費用。

航空券： 約 340,000円

宿泊費： 約 80,000円

現地交通費： 約 30,000円

食費： 約 45,000円

国内旅費： 約 30,000円

海外渡航保険： 約 20,000円

予防接種： 約 10,000円

➤ 食費、国内旅費（成田空港までの移動費用）、海外渡航保険、予防接種料金は自己負担。

※JASSO が定める成績基準を満たしている場合には、「海外留学支援制度（重点政策枠）」により、6万円程度が支給される可能性があります（下記 6. 応募条件の※参照）。

6. 応募条件

以下の全ての条件にあてはまることが応募要件となります。

1. 山形大学、米沢栄養大学に在籍する学部 1、2、3、4 年生もしくは大学院修士課程 1、2 年生、または博士課程 1、2 年生（鶴岡高専については専攻科の 1、2 年生または本科の 4、5 年生）。来春卒業（修了）となる最終学年の学生は応募できませんが、山形大学の大学院や鶴岡高専の専攻科等、本プログラム実施機関の上位課程への進学が確定している者は応募可。
2. 平成 29 年 4 月から山形大学小白川キャンパスで実施しているスペイン語講座に参加し、確実に修了できる者。（米沢キャンパス、鶴岡キャンパスおよび米沢栄養大学と鶴岡高専の学生は、録画教材を利用した学習と集中講義への参加により代替することができる。その場合、小白川キャンパスで実施される試験と同程度の試験で 60 点以上をとることを条件とする。）
3. 英語での講義を理解し、英語でディスカッションできること。また、TOEIC (TOEIC IP を含む)、TOEFL iBT、英検、CFER 等のスコアカード・資格のコピーを申請書と共に提出できること。※他の資格などをお持ちの方は別途、山形大学人文社会科学部 DTP 推進室までご相談ください。
4. 本プログラムで受け入れる南米学生との交流やその支援に積極的に関わる意思のある者。
5. 各キャンパスにて実施される事前学習会（米沢キャンパス、鶴岡キャンパスについては遠隔システムを用いた受講の可能性あり）を含めた全ての日程に参加できること。
6. 派遣決定後、プレゼンテーションやレポート等の事前課題を提出できること。
7. 滞在中、健康面を含めた必要な自己管理が出来ること。
8. 事後レポートの提出すること。また、報告会等へ参加し、本プログラムの情報発信に協力できること。

9. 選考終了後直ちにパスポートを所有できること、または既にパスポートを所有している者。（本年度の選考日程に関しては、後日 HP 等を通じて通知します。）

※GPA が 2.3 以上の者は JASSO からの奨学金（6 万円）を受給できる可能性があります。JASSO の GPA の計算式は、山形大学および米沢栄養大学、鶴岡高専の GPA の計算式とは異なる可能性がありますので、各自、自分の成績を下記計算式に当てはめて算出してください。選考に当たっては、この成績基準を満たす者を優先します。

	成績評価				
	—	優	良	可	不可
4 段階評価(パターン 1)	—	優	良	可	不可
4 段階評価(パターン 2)	—	A	B	C	F
4 段階評価(パターン 3)	—	100～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下
5 段階評価(パターン 4)	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下
5 段階評価(パターン 5)	S	A	B	C	F
5 段階評価(パターン 6)	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

< JASSO の成績評価計算式 >

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

総登録単位数